

荻野 浩輝（オギノ コウキ）



一般社団法人AgVenture Lab 代表理事理事長

農林中央金庫 特別参与

神戸大学アントレプレナーシップセンター客員教授

1990年農林中央金庫入庫。
有価証券やデータシステムの構築やITリスクマネジメントなどを歴任。
2000年、カリフォルニア大学バークレー校でインターネットビジネスを学ぶ。
執行役員兼デジタルイノベーション推進部長を経て、
2019年より一般社団法人 AgVenture Lab 代表理事理事長、
2021年より農林中央金庫特別参与。





わたしたちは、
「食」と「農」と「くらし」
にかかわる社会課題を解決する
スタートアップを支援します。



01 農業



02 食



03 くらし



04 金融



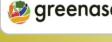
05 地方創生



06 SDGs/その他



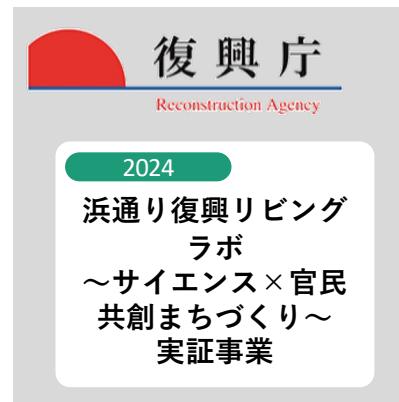
第1期	2019.5~10
	
第2期	2020.5~11
	
第3期	2021.5~11
	
第4期	2022.5~11
	
第5期	2022.5~11
	
第6期	2024.5~11
	
第7期	2025.5~11
	

応募数	採択スタートアップ
192件	»       
161件	»        
211件	»         
179件	»         
189件	»          
207件	»       
189件	»         

行政との取り組み



- 農林水産省や東京都をはじめ、さまざまな行政と共同プロジェクトを推進しています。



SA&Fクラスターメンバー ※2025年12月時点



- JAグループ・一般企業・自治体・教育機関など多様

#	クラスター構成事業者
1	全国農業協同組合連合会 (JA全農)
2	JA全農青果センター株式会社
3	全農パールライス株式会社
4	全農グリーンリソース株式会社
5	全国農協食品株式会社
6	JA全農たまご株式会社
7	JA全農ミートフーズ株式会社
8	全農チキンフーズ株式会社
9	JA全農くみあい飼料株式会社
10	協同乳業株式会社
11	全農畜産サービス株式会社
12	株式会社科学飼料研究所
13	JA全農Aコープ株式会社
14	JA全農インターナショナル株式会社
15	全農エネルギー株式会社
16	全農物流株式会社
17	農林中央金庫
18	株式会社農林中金総合研究所
19	農林中金キャピタル株式会社

#	クラスター構成事業者
20	全国農業協同組合中央会 (JA全中)
21	全国共済農業協同組合連合会 (JA共済連)
22	株式会社農協観光
23	株式会社日本農業新聞
24	一般社団法人家の光協会
25	日建リース工業株式会社
26	株式会社ニチレイフレッシュ
27	Future Food Fund株式会社
28	株式会社ヤマタネ
29	株式会社ニッスイ
30	マルハニチロ株式会社
31	国立大学法人東北大学
32	学校法人東京農業大学
33	全国農協青年組織協議会 (JA全青協)
34	JA東京青壮年組織協議会 (JA都青協)
35	東京都農業協同組合中央会 (JA東京中央会)
36	株式会社ユーグレナ
37	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
38	国立大学法人北海道大学

クラスター代表事業者
一般社団法人AgVenture Lab

#	クラスター構成事業者
39	株式会社JR東日本クロスステーション
40	株式会社雨風太陽
41	共栄火災海上保険株式会社
42	インクルージョン・ジャパン株式会社
43	群馬県
44	株式会社パールライス滋賀
45	東京科学大学
46	一般社団法人プロメテウス財団
47	国立大学法人東京農工大学
48	株式会社全農ビジネスサポート
49	尾西食品株式会社
50	アサヒ飲料株式会社
51	株式会社明治
52	パタゴニア・インターナショナル・インク日本支社
53	サントリーホールディングス株式会社
54	東京和牛株式会社
55	帯広畜産大学
56	オイシックス・ラ・大地株式会社
57	カルビー株式会社

大学との連携

全国各地の大学との連携

大学連携

全国各地の大学との連携を拡大し、オン・オフラインイベントへの登壇、出講などを実施。

慶應SFCでの出講
(2025/5/26,6/2,6/9)



神戸大学 起業スタートアップセミナー
(2025.12.18)

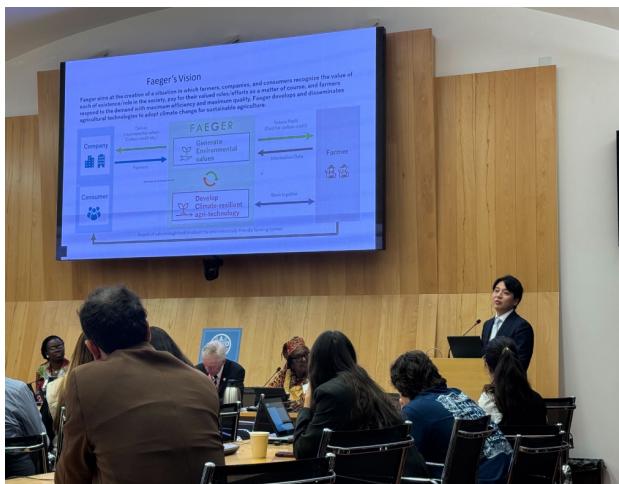


アントレプレナーシップセンター主催起業・スタートアップセミナー

スタートアップ海外進出支援（事例：FAO World Food Forum）



FAEGER



World Food Forum

- ピッチイベントやメインステージでの登壇、展示スペースへの出展などに参加。

FAOとの面談

- PSU（パートナーシップ・国連連携部）、NSL（土地・水産資源管理部）、NFI（水産養殖部）などと面談を行い、自社サービスの紹介や今後の連携の可能性などをディスカッションした。
- ストラウトに関してはNFI（水産養殖部）との面談にて、来年FAO本部で開催される水産委員会のサイドイベントで展示やプレゼンを行うことについて先方から打診があった。

農林中央金庫 CVCファンド

- 2019年に国内外のスタートアップ投資を行う枠組みを設立。アグリテック・フードテックを中心に、2025年までに**累計50社超**出資。2022年には**シリコンバレー拠点**を開設、専門人材を常駐。グローバル×アグリ・フードに特化した投資を行う**唯一**の日系VC・CVC

運営体制/トラックレコード

投資開始：2019年

投資拠点：東京・シリコンバレー・アムステルダム

投資対象：アーリーステージのスタートアップ

投資地域：日本・アジア・米国・欧州・ブラジル

投資実績：約50社(過半がアグリテック・フードテック)

運用総額：約250億円

海外投資事例：



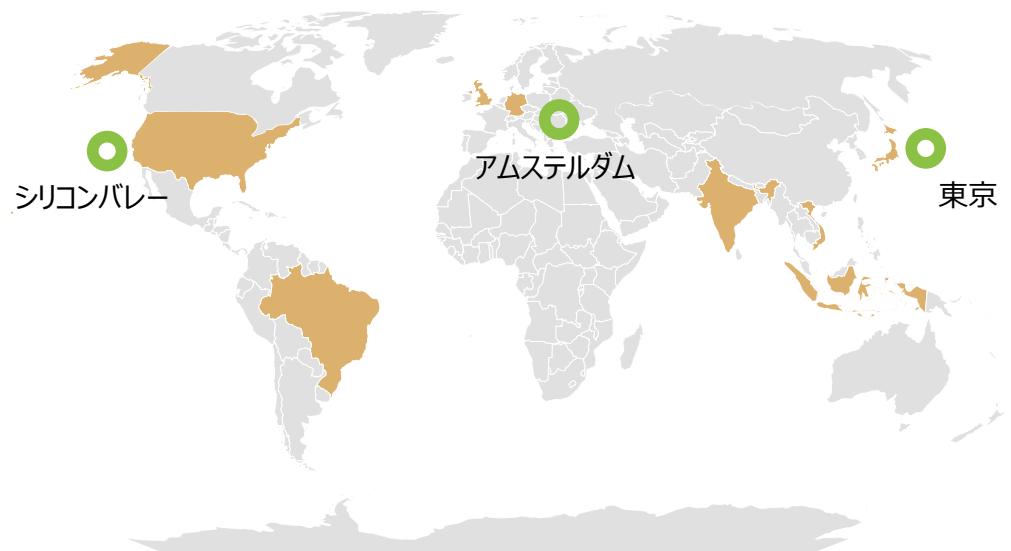
農場管理・土壤分析



ブラジル農業デジタルバンク



甘味タンパク質



提供元: Bing

© Australian Bureau of Statistics, GeoNames, Geospatial Data Edit, Microsoft, Navinfo, Open Places, OpenStreetMap, Overture Maps Foundation, TomTom, Zenrin

2 キーワード

	<u>キーワード</u>	<u>概要</u>	<u>背景</u>
①	再生農業	<ul style="list-style-type: none">・土壤の健康状態を回復、向上させる農業手法・生産性とサステナビリティを両立	<ul style="list-style-type: none">・気候変動や資材価格高騰の影響により、収量低下や農業経営の不安定化が進行
②	カーボンインセット	<ul style="list-style-type: none">・企業が自社サプライチェーン内の脱炭素プロジェクトに投資を行うこと	<ul style="list-style-type: none">・スコープ3排出削減への要請の高まり・原材料安定調達リスクを意識する食品メーカー・リテラーの増加
③	バイオ資材	<ul style="list-style-type: none">・微生物や植物由来の肥料・農薬・バイオスティミュレント	<ul style="list-style-type: none">・再生農業ニーズの高まり・化学資材のコスト増加や規制強化・害虫・雑草の耐性問題への対応ニーズ
④	ロボティクス	<ul style="list-style-type: none">・自動運転トラクター、収穫・除草ロボットなど	<ul style="list-style-type: none">・人手不足、労働コスト増加・資材コスト上昇に伴う精密農業の重要性向上
⑤	遺伝子編集	<ul style="list-style-type: none">・AIやCRISPER技術等により、狙った形質を高速かつ精密に改良する育種手法	<ul style="list-style-type: none">・気候変動による栽培適地の変化・リスクの増加・一部地域での規制整備に向けた動き
⑥	精密発酵	<ul style="list-style-type: none">・微生物を活用して特定のタンパク質や機能性成分を生産	<ul style="list-style-type: none">・既存原材料の供給不安定化・既存サプライチェーンを補完する代替原材料ニーズの高まり・高機能原材料ニーズの高まり
⑦	アップサイクル食品	<ul style="list-style-type: none">・農業・食品製造の副産物や廃棄物を食品として再利用	<ul style="list-style-type: none">・既存原材料の供給不安定化・既存サプライチェーン補完ニーズの高まり・サステナブルな原材料への要請